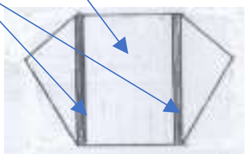
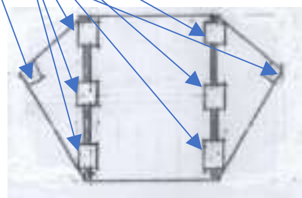
グニャグニャタコの作り方

１．用意する材料
(1)　本体(和紙)；１枚
(2)　補強版
(a)　Ａ補強板(和紙)；６枚
(b)　Ｂ補強板(厚板)；２枚(鳩目穴開け済み)
(3)　尾　　　　　：１枚
(4)　縦骨(竹ひご)；２本
(5)　張糸(７０㎝)；１本
(6)　タコ糸ボビン：１本(道糸)
(7)　スティックのり；１本(のり付け工作用)
(8)　竹くし　　　　；１本(Ｂ補強版の穴開け用)
(9)　ポリ袋；上記(2)a、(2)b、(5)及び(7)が入っています。
(10)　輪ゴム；1本(縦骨を束ねる)
(11)　グニャグニャダコの作り方；１セット

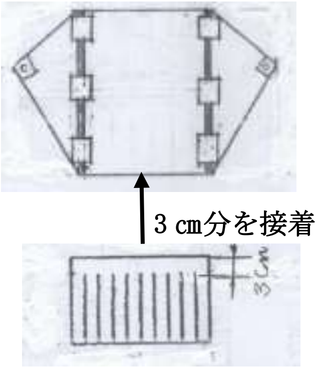
２．作り方手順
2.1　「本体(和紙)」に「縦骨(２本)」を接着する
(1)　「本体(和紙)」は裏面(ざらざら面側)に縦骨を貼付する。
(2)　「縦骨」の身側(つるつるしていない面側)にノリを付け本体(和紙)に接着する。



2.2　本体(和紙)に補強板を接着する
(1)　「Ａ補強板」(ざらざら面側)を縦骨及び「本体(和紙)」に接着する。(６枚)
(2)　「Ｂ補強板」を本体(和紙)に接着する。(２枚)



2.3　「本体組み立て」に「尾」を接着する
「本体組み立て」に「尾」(ざらざら面側)を接着する。

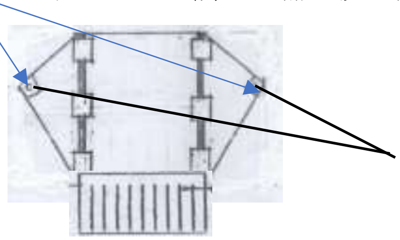


2.4　張り糸の本体(和紙)への結ぶ(2 カ所)

(1)　張り糸は縦糸を接着した側(裏面)に張ります。

(2)　Ｂ補強板(厚紙)の鳩目穴の位置に「竹くし」を使用して穴をあける。(２カ所)

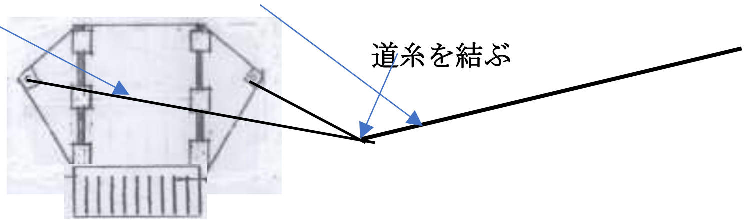
(3)　張り糸の両端を２か所のＢ補強板に結ぶ



(裏面)

2.5　「張り糸」に「タコ糸ボビン(道糸)」を結ぶ

「張り糸」の中心部分に「道糸」を結ぶ



2.6　糸の結び方(参考)

下記参考として「糸の結び方」を示します。

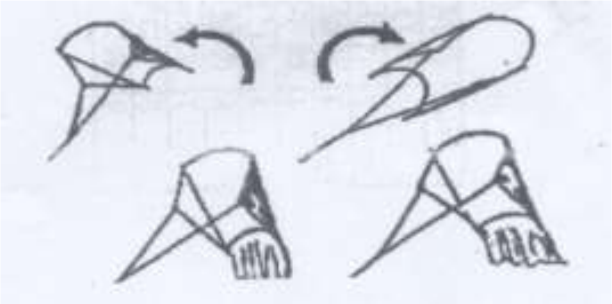
2.7　タコ揚げの際の調整(必要に応じて調整して下さい)

タコは尾を付けなくても上がりますが、もしタコのバランスが悪くて、

・タコが左に回る時は右の骨の下に尾を付けて

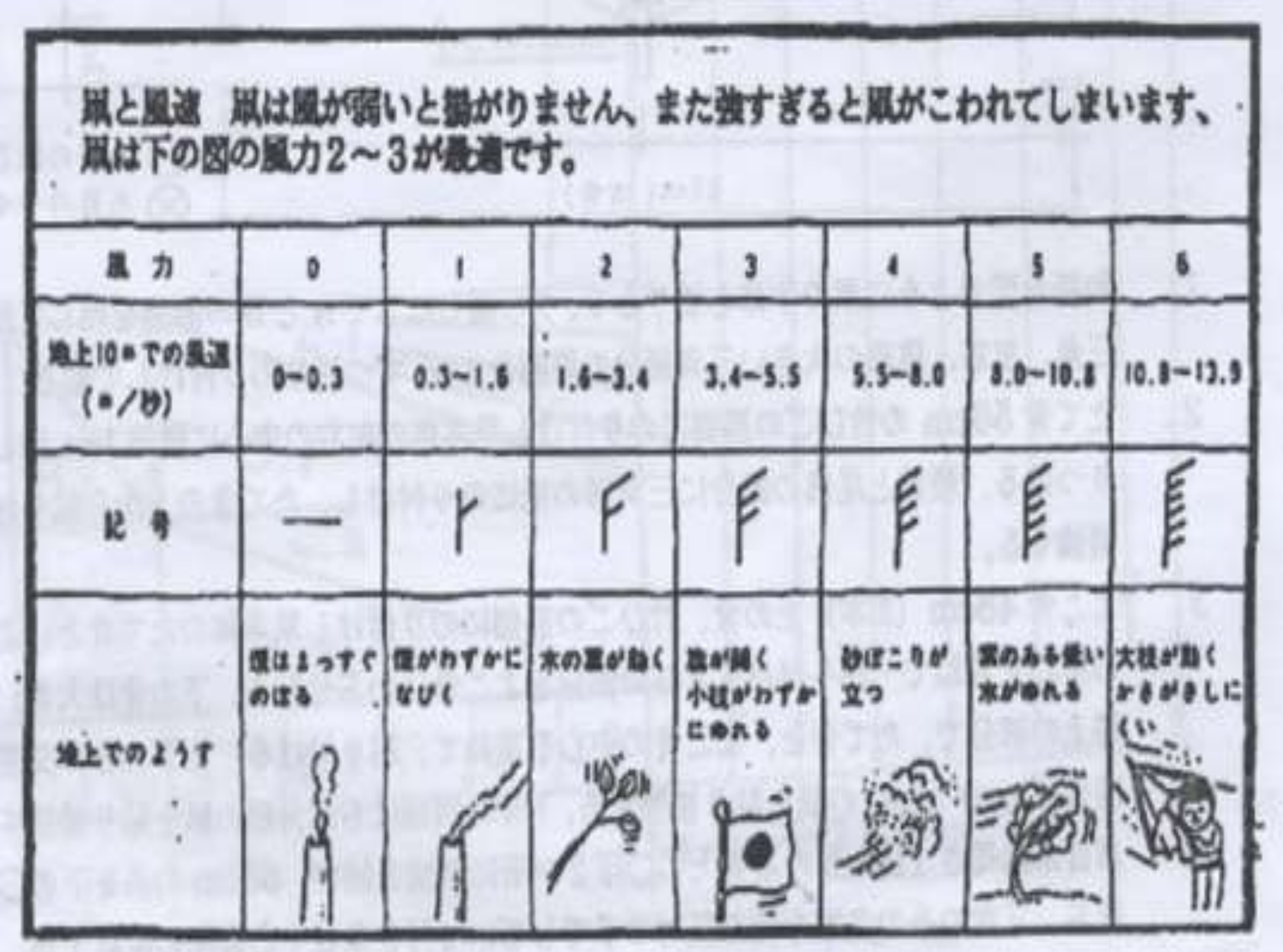
・タコが右に回る時は左の骨の下に尾を付けて

タコが回らいように調整して下さい。



2.8　タコ揚げと風速の関係

タコ揚げと風速の関係は下表をご覧下さい。



凧と風速　凧は風が弱いと揚がりません、また強すぎると凧がこわれてしまいます、凧は下の図の風力2～3が最適です。

風力	0	1	2	3	4	5	6
地上10mでの風速（m／秒）	0~0.3	0.3~1.6	1.6~3.4	3.4~5.5	5.5~8.0	8.0~10.8	10.8~13.9
記号							
地上でのようす	煙はまっすぐのぼる	煙がわずかになびく	木の葉が動く	旗が開く 小枝がわずかにゆれる	砂ぼこりが立つ	葉のある低い木がゆれる	大枝が動く かさがさしにくい

以上